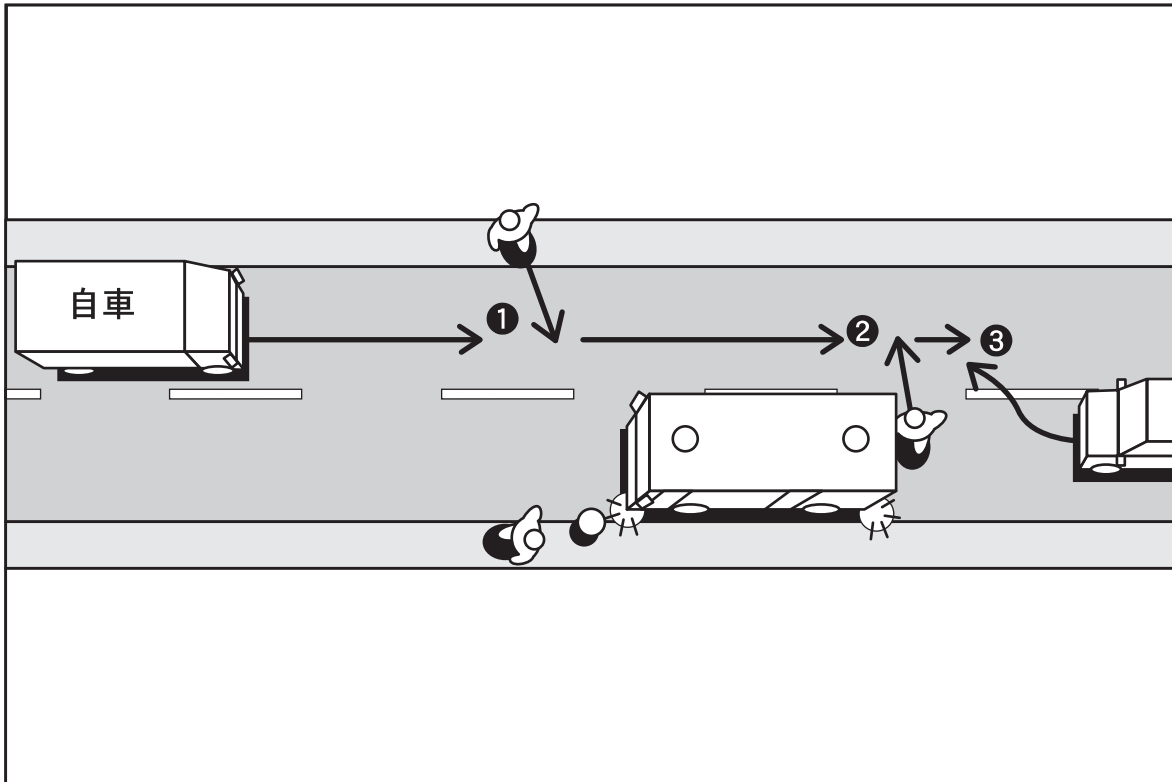


〔トラック1〕バス停のある道路を走行



1．主な危険要因の例

- ① 道路の左側の歩行者が、バスに乗ろうとして道路を横断してくることが予測され、そのまま進行するとはねる危険がある。
- ② バスの後方に歩行者が見える。この歩行者はバスを降りた乗客と考えられるが、この歩行者が道路を横断してくるとはねる危険がある。
- ③ 対向車がバスを追い越して進行してくると衝突する危険がある。

2．安全運転の例

バス停にバスが停車しているときは、バスに乗り込むために強引に道路を横断してくる歩行者も少なくないので、歩行者の動向に十分注意する。

バスを降りた乗客がバスの後ろから道路を横断してきたり、対向車が強引にバスを追い越してくることもあるので、バス停付近の状況によく目を配る。

3．乗務員指導のポイント

片側1車線の道路でバス停に接近したときは、特に次の点に留意するよう指導する。

- ・バスが停車しているときは、バスに乗り込もうとする人やバスを降りた人が道路を横断する危険があるので、道路の両側に目を向けて歩行者の動向に注意する。
- ・対向車線側にバスが停車しているときは、対向車の動きにも注意する。
- ・自転車線側にバスが停車しているときは、無理に追い越そうとはせず、バスの発進を待つようにする。

通勤や通学時間帯のバス停付近は、特に危険が多いので慎重に走行するよう指導する。